

環境省 VOC モニタリング調査結果

## 1. モデルのバリデーション

### 1.3. 環境省 VOC モニタリング調査結果

#### 1.3.1. 解析の目的

シミュレーションによる VOC および NO<sub>x</sub> の再現性について確認することを目的として、本解析を実施した。特に VOC については個別成分について計算値と測定値の比較を行った。

#### 1.3.2. 解析方法

関東領域および九州領域における VOC 成分測定局の測定値を対象に、シミュレーション結果との比較を行った。対象期間は、2006～2010 年、対象測定局は、関東領域は大袋局（埼玉県越谷市）、南千住局（東京都荒川区）および足利市役所局（栃木県足利市）である。九州領域は、下関長府東局（山口県下関市）、福岡県黒崎局（福岡県北九州市八幡西区）および八本局（福岡県大牟田市）を対象とした（図 1-1 および図 1-2）。比較に用いる統計値は、測定値については VOC 成分の測定が実施された期間の平均値を算出し、化学反応モデル SAPRC99 で用いられている VOC 成分別に分類、集計した値を設定した。計算値については、VOC 成分を測定した月の平均値を比較に用いる統計値に設定した。



図 1-1 VOC 成分測定局（関東領域）



图 1-2 VOC 成分測定局（九州領域）

### 1.3.3. 解析結果

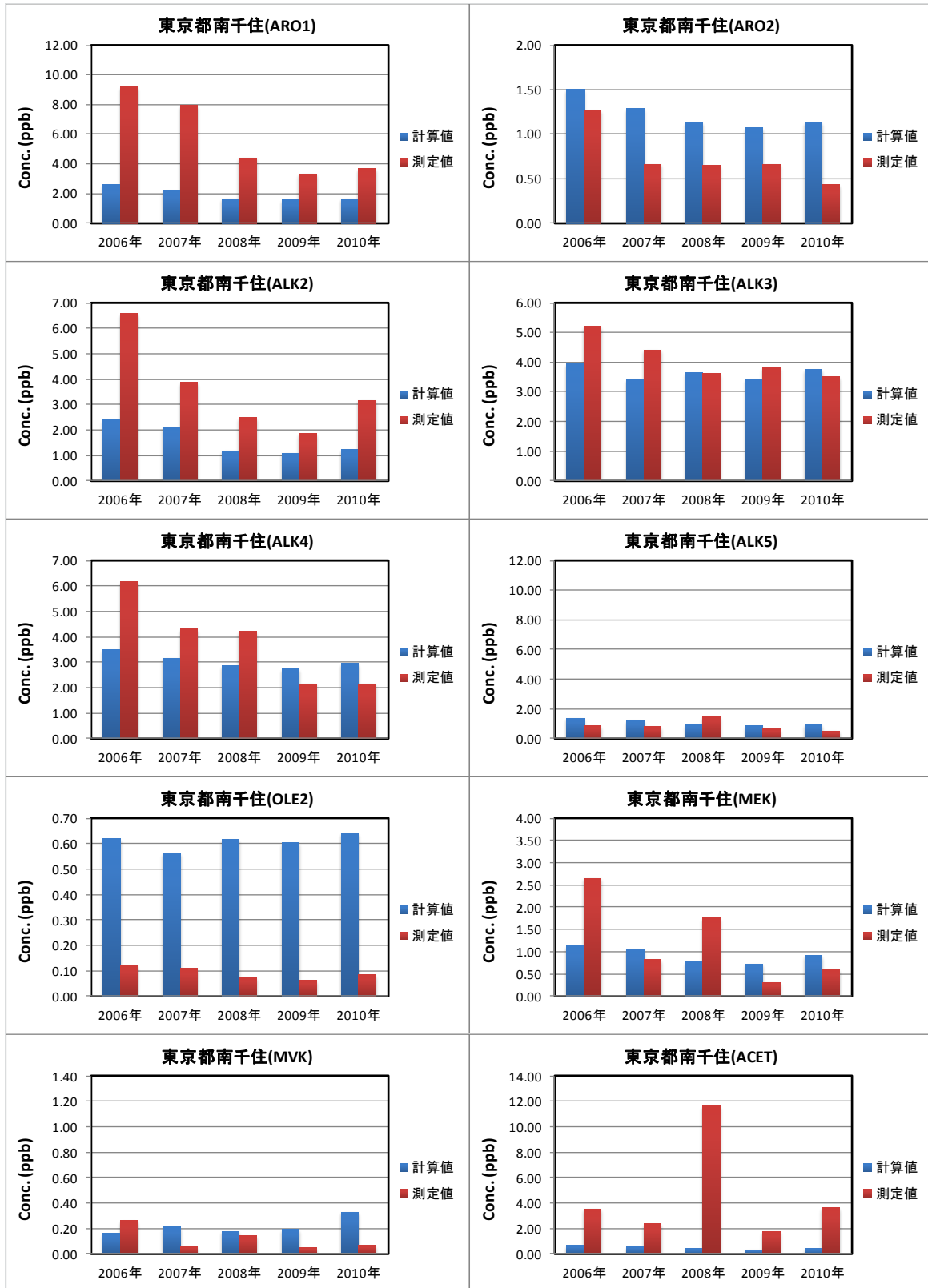


図 1-3 VOC 成分測定局の測定値と計算値（東京都南千住局）

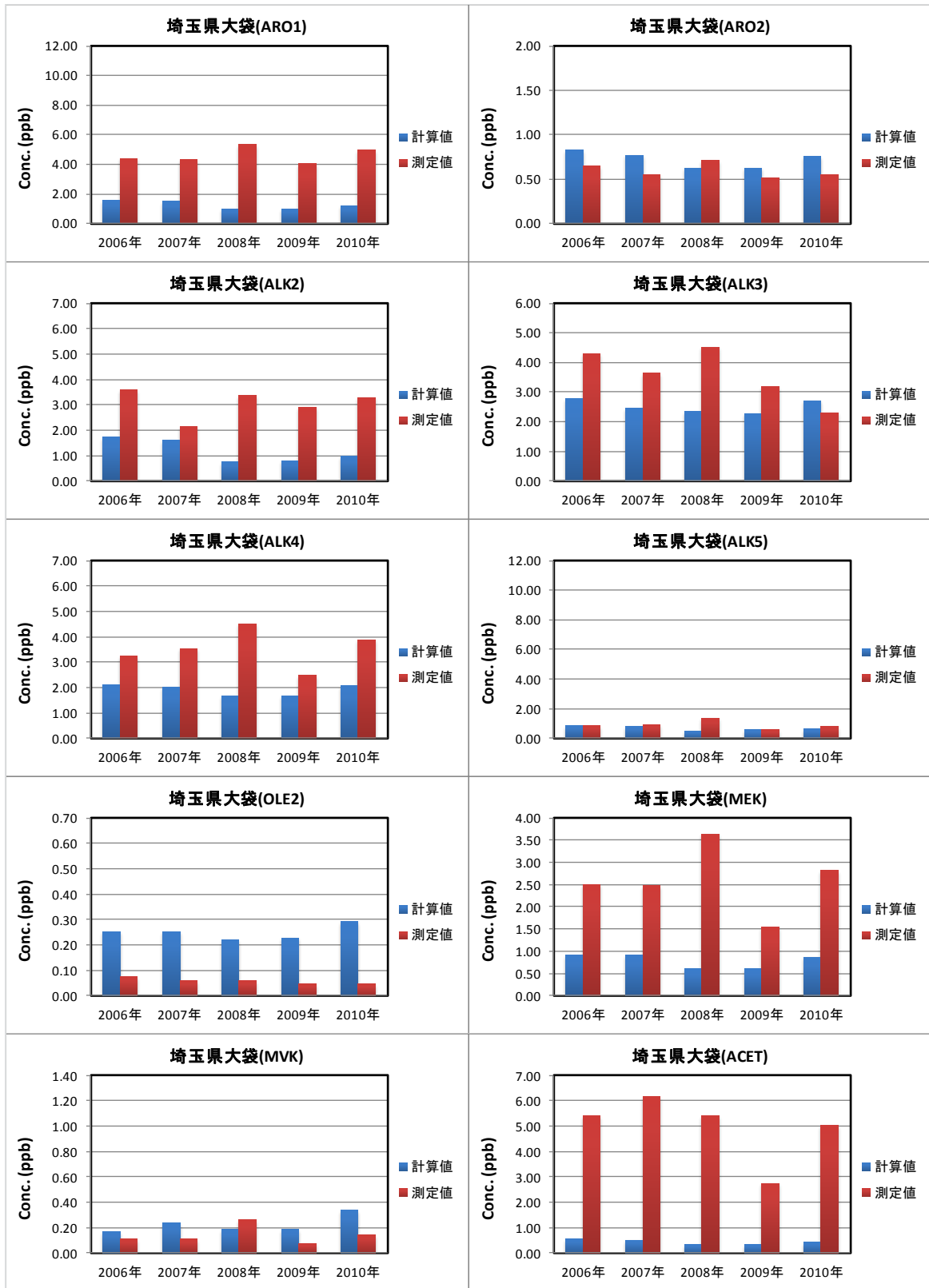


図 1-4 VOC 成分測定局の測定値と計算値 (埼玉県越谷市大袋局)

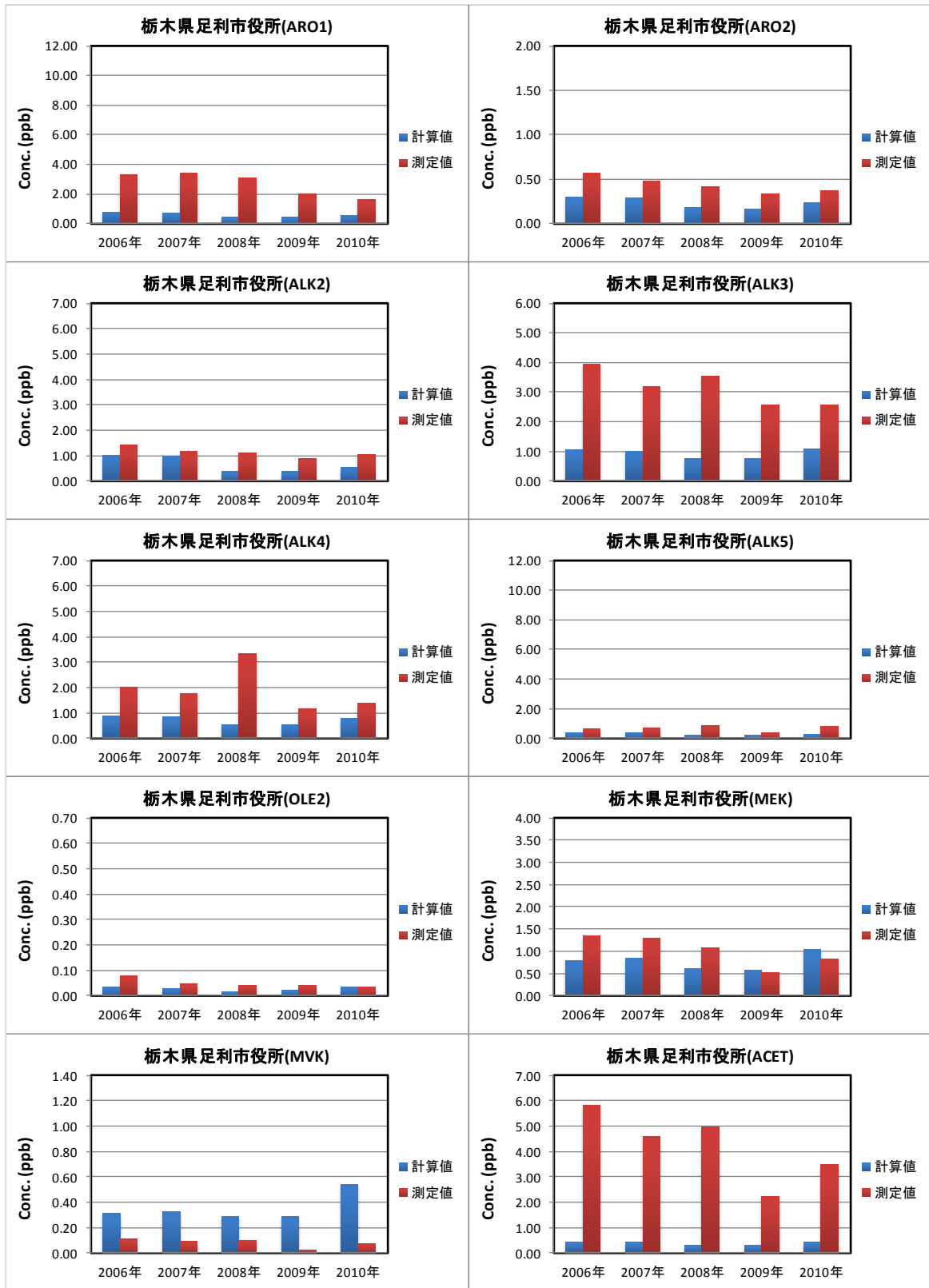


図 1-5 VOC 成分測定局の測定値と計算値 (栃木県足利市足利市役所局)

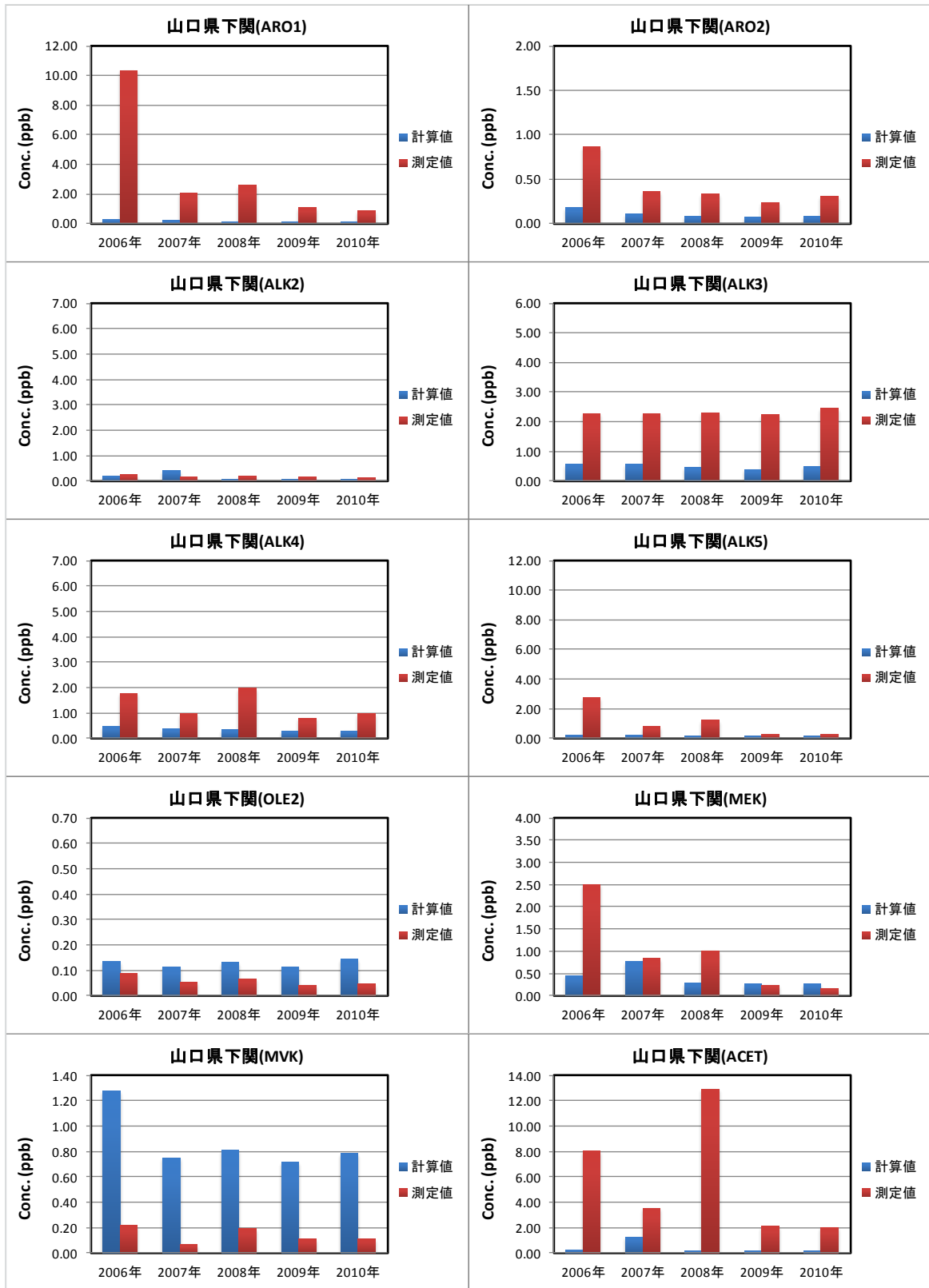


図 1-6 VOC 成分測定局の測定値と計算値 (山口県下関市下関長府東局)

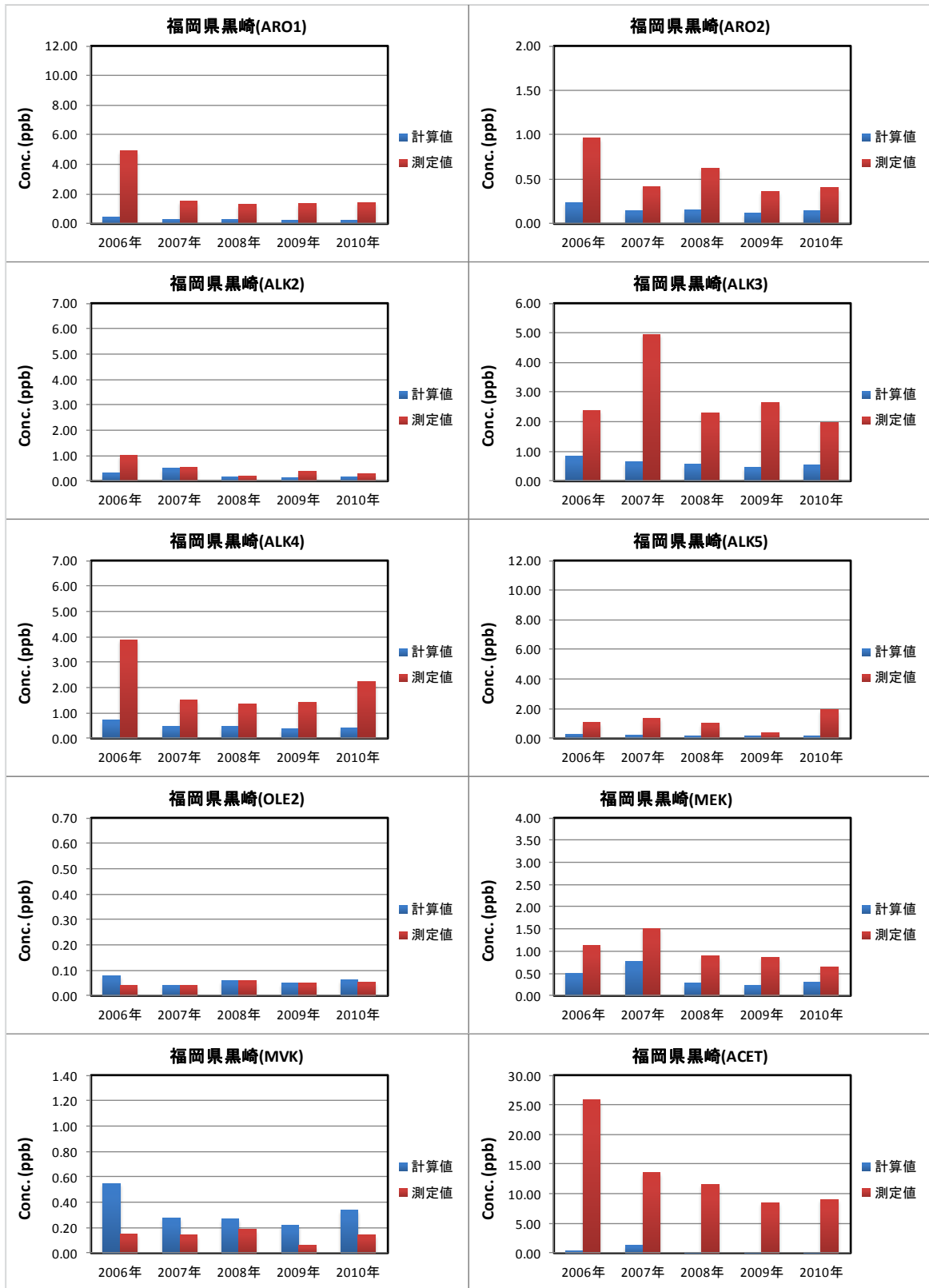


図 1-7 VOC 成分測定局の測定値と計算値（福岡県北九州市八幡西区黒埼局）



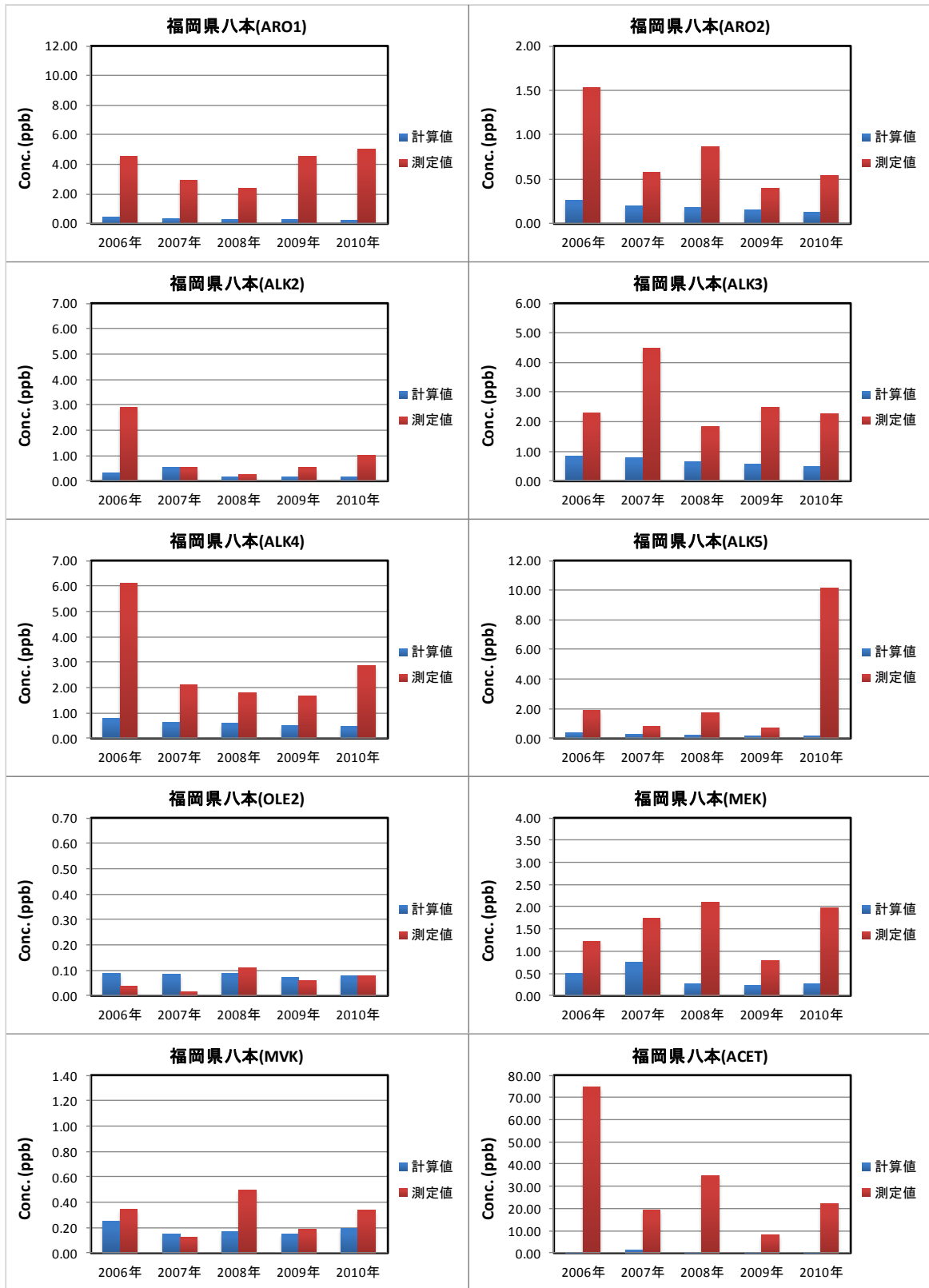


図 1-8 VOC 成分測定局の測定値と計算値（福岡県大牟田市八本局）